

2－4 東北・北陸地方の基線測量結果

Results of Base Lines Measurements in the Tohoku and Hokuriku District

国土地理院
Geographical Survey Institute

東北・北陸地方で実施した放射及び菱形基線測量の結果について報告する。

第1図は秋田放射基線測量結果による三角点間の距離変化と水平歪を示す。光波測距儀で測定した1982年と1979年間の差は2 cm以下で特に有意な変化はない。

第2図は水沢菱形基線測量結果である。1964年以来光波測距儀による4回の観測結果からそれぞれの変動量を示している。1982年の測定の際に岩谷堂測点付近の土砂が削り取られているのを発見したが、変動量に影響を及ぼしているかどうかは不明である。

第3図は牡鹿放射基線測量の結果である。今回の測定で初めて変動量が算出されたが大きな変化はない。

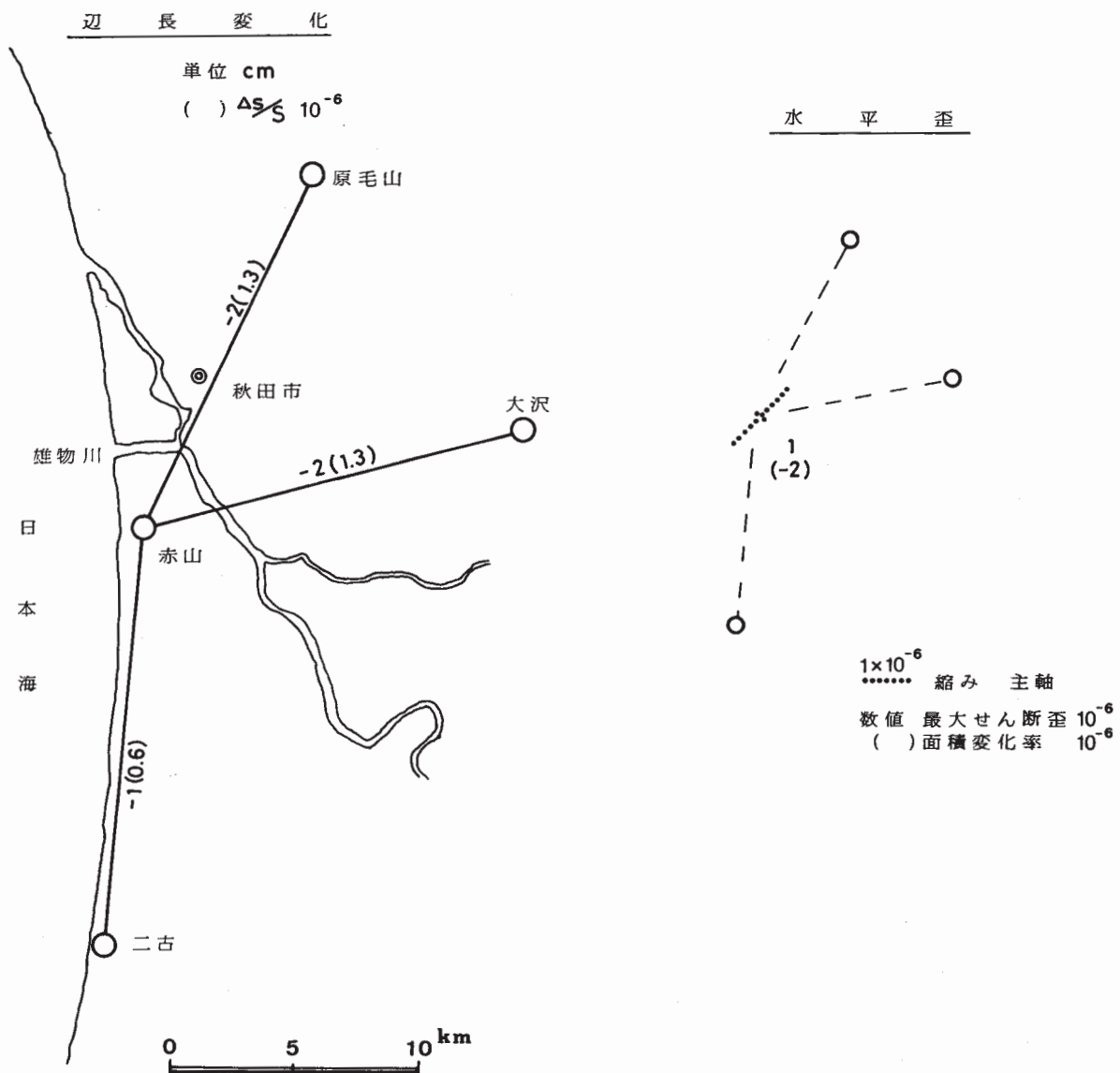
第4図は小千谷放射基線測量の結果である。光波測距儀で測定した1982年と1980年間の変化は小さい。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻調査部：秋田地方の地殻変動，連絡会報，**23**（1980），18－21.
- 2) 国土地理院測地部：東北地方南部及び北陸地方の水平歪，連絡会報，**26**（1981），45－54.

観測年月 区 間	I 三角測量 1900~1908	II 1979.9	III 1982.10	差	
				III-I	III-II
赤山 ~ 原毛山	15798. ^m 05	.06	.04	- 1 ^{cm}	- 2 ^{cm}
" ~ 大沢	15736.86	.79	.77	- 9	- 2
" ~ 二古	16792.18	.23	.22	+ 4	- 1

1982-1979

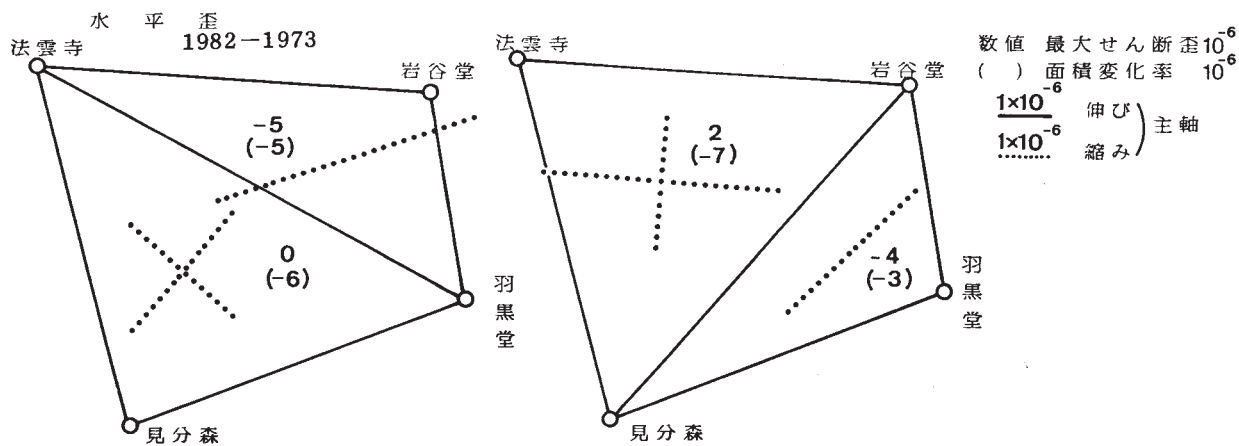
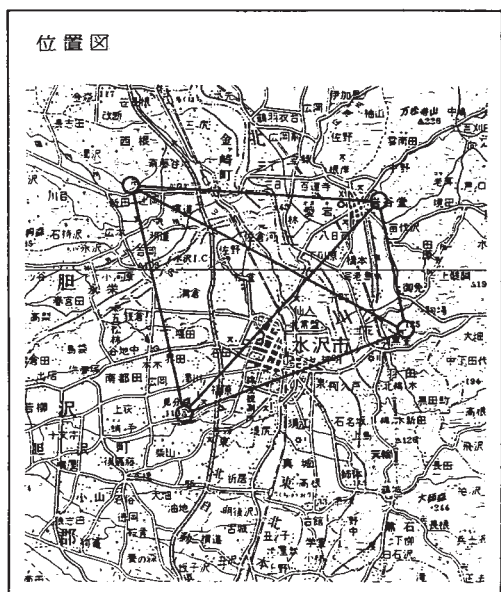
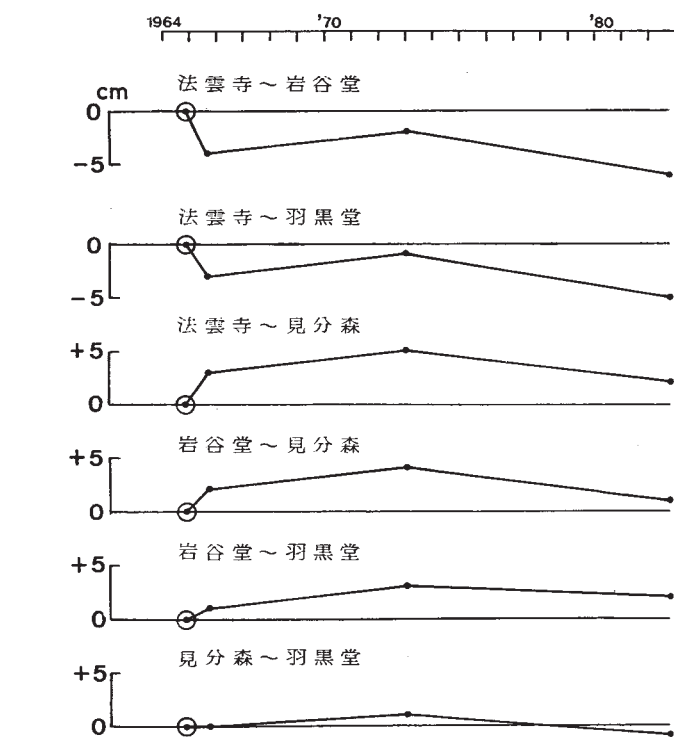


第1図 秋田放射基線測量結果

Fig. 1 Results of distance measurements at Akita radial base lines.

測定年月 区 間	I	II	III	IV	差		
	1964, 10~11	1965, 9~10	1973, 1	1982, 10	IV-I	IV-II	IV-III
法雲寺 ~ 岩谷堂	9290.43 ^m	.39 ^m	.41 ^m	.37 ^m	-6	-2	-4
〃 ~ 羽黒堂	11437.33	.30	.32	.28	-5	-2	-4
〃 ~ 見分森	8783.58	.61	.63	.60	+2	-1	-3
岩谷堂 ~ 〃	10635.06	.08	.10	.07	+1	-1	-3
〃 ~ 羽黒堂	4834.59	.60	.62	.61	+2	+1	-1
見分森 ~ 〃	8539.41	.41	.42	.40	-1	-1	-2

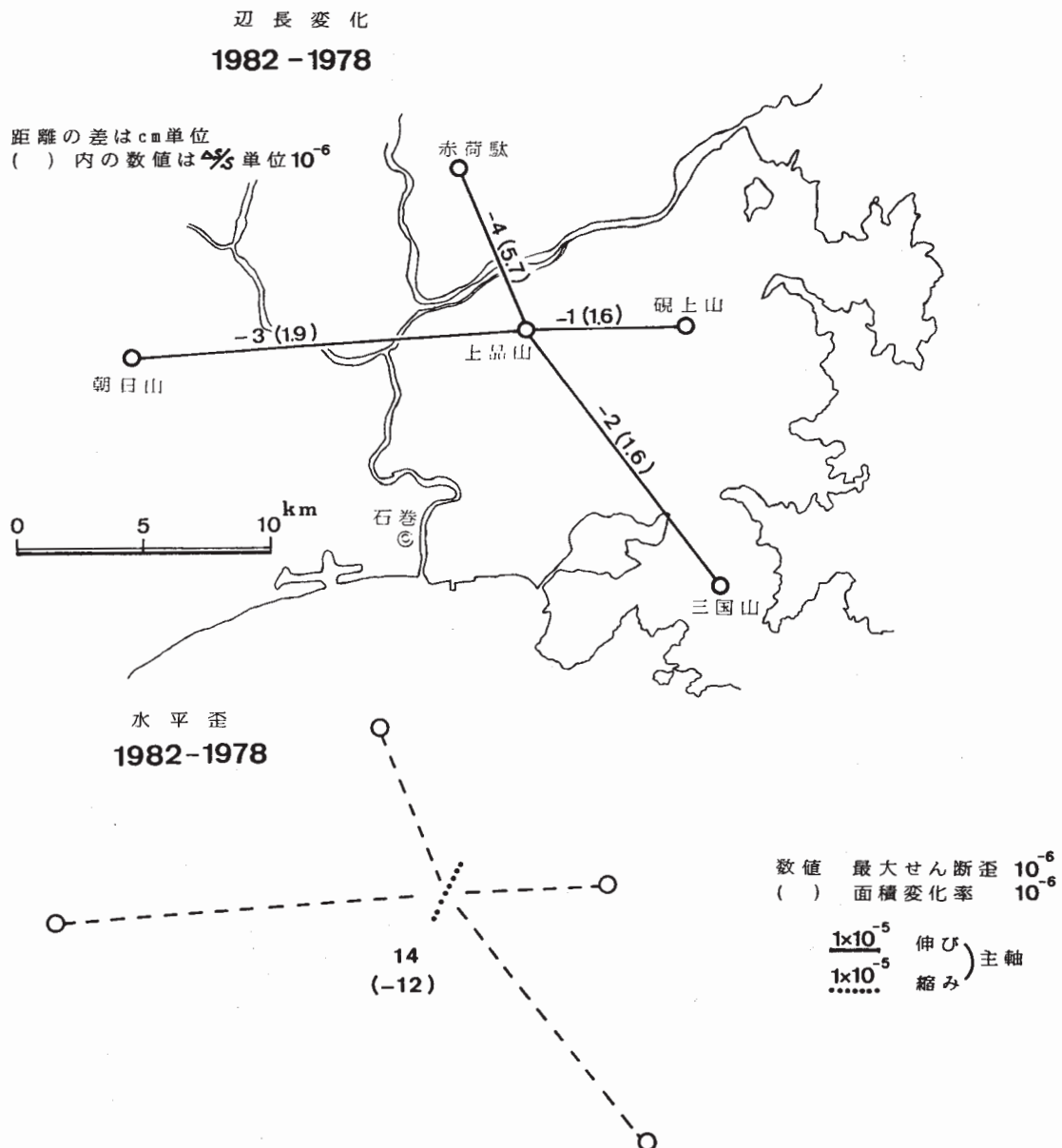
辺長の経年変化



第2図 水沢菱形基線測量結果

Fig. 2 Results of distance measurements at Mizusawa rhombus base lines.

観測年月 区 間	I 1978.8	II 1982.10	差 II-I
上品山 ~ 赤荷駄	7046.42 ^m	.38 ^m	- 4 ^{cm}
〃 ~ 硯上山	6308.36	.35	- 1
〃 ~ 三国山	12688.49	.47	- 2
〃 ~ 朝日山	15549.18	.15	- 3



第3図 牡鹿放射基線測量結果

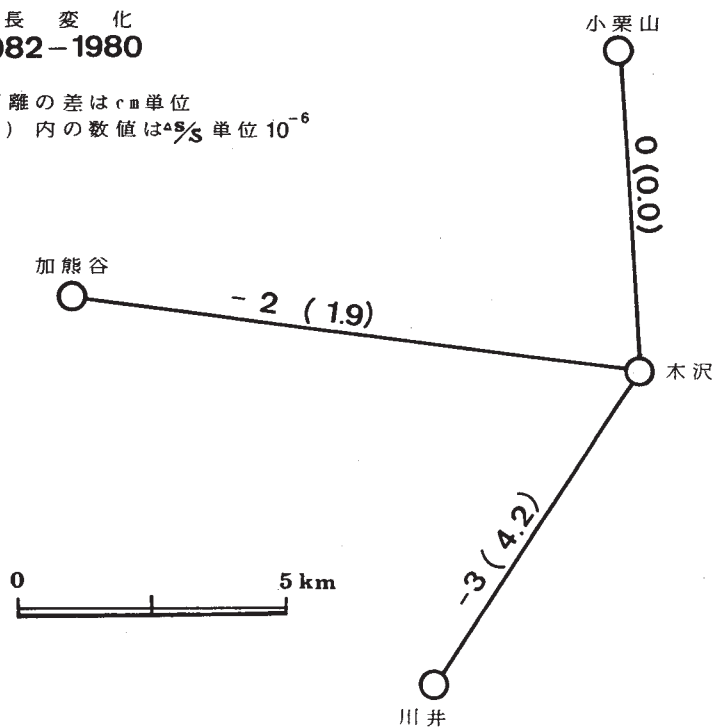
Fig. 3 Results of distance measurements at Oshika radial base lines.

測定年月 区 間	I	II	III	差	
	1893 (三角測量)	1980.8	1982.8	III-I	III-II
木 沢 ~ 小 栗 山	6003.26 ^m	.31 ^m	.31 ^m	+ 5 ^{cm}	0 ^{cm}
〃 ~ 加 熊 谷	10715.29	.21	.19	-10	- 2
〃 ~ 川 井	7085.22	.26	.23	+ 1	- 3

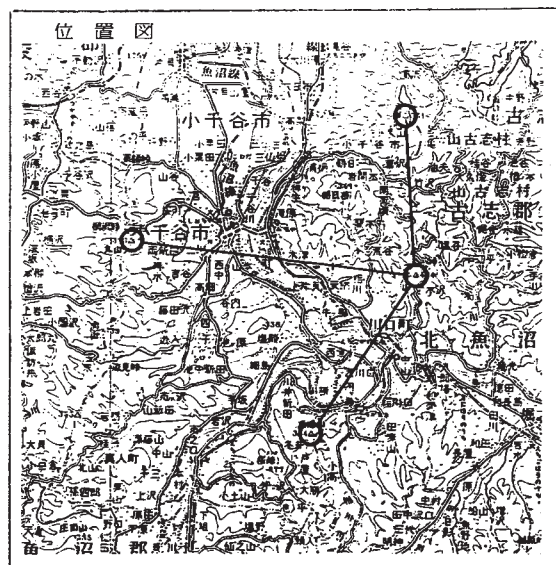
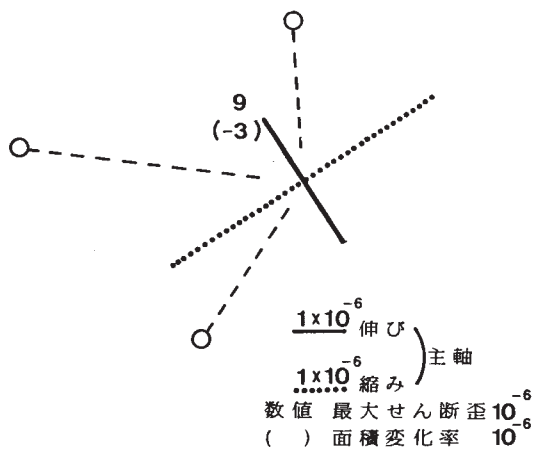
(一次網)

辺 長 変 化 1982-1980

距離の差はcm単位
() 内の数値は $\frac{\Delta s}{s}$ 単位 10^{-6}



水 平 歪 1982-1980



第 4 図 小千谷放射基線測量結果

Fig. 4 Results of distance measurements at Ojiya radial base lines.